

キッズみんなの日記

10月号

朝夕、めつくり涼しくなり秋も本番ですね。散歩をしていると、どんぐりがたくさん落ちていて、思わず童心に返って拾ってしまいます。空気が澄んでいておいしいですね。みなさんは、どんな秋を見つけてましたか。

さて、先月は、運動会や敬老の日にまつわる思い出をつづった日記が多くみられました。同じような題材で書かれた作品でも、人それぞれ表現の仕方が違つのがおもしろいところです。自分の日記と同じ題材の優秀作品はとも参考になりますね。

★初級者（一・二年生）の部★

うんてい

きょう、うんていで手のかわがむけた。ちがいはいばいできて、すごかった。でも、がまんした。もう、うんていはやりたくない。

(小二・SR君)

優秀作品紹介

ずいぶん我慢してがんばりましたね。けがの状況を細かく説明することで、読み手が思わず「痛い。」と顔をしかめてしまうほど、上手に「痛み」を表現しています。

★★中級者（三・四年生）の部★★

運動会

九月十一日にはじめての練習がはじまりました。運動会の一しゅもくの「いっしゅんの風になれ」の練習を校庭でやりました。さいしょ、じゅん番をきめました。ぼくは、のじ先生に

「十三レースの三コース目」

と言われました。ぼくのとまりが西谷くんです。ぼくは、六人中四位くらいかな、と思いましたが、

ついに、九月二十一日日曜日、運動会が始まりました。ぼくは、戸村君に「どきどきするね。」と言ったら、戸村君が「うん。」

と言いました。「いっしゅんの風になれ」が終わったとき、ぼくは五位でした。四位かと思ったのに、残念でした。

午後、雨が降ってきたので運動会は中止になりました。続きは二十四日になりました。

(小三・MY君)

友達との会話を効果的に使って、運動会当日の期待感や緊張感を生き生きと表現できました。練習の時から、自分の順位を予想し、結果とのギャップに対する感想を述べたところもうまいですね。

運動会大丈夫かな？

今日も、運動会の練習をしました。今日練習したのは、開会式とおどりで。おどりは体育館でやりました。クルツと回ったり、しゃがんで、立ったりするタイミングがむずかしかったです。僕は、

(あれ？どっちに回るんだっけ？)

と思ったりしました。でも、このおどりは、僕が好きな回るところがたくさんあって面白かったです。僕は、(少し目が回るけど楽しいな。)



他にも、かけっこや玉入れの練習もしています。

とてもたくさん練習しているので絶対勝てると思います。これから頑張つて練習したいです。エイ！エイ！オー！

(小一・YK君)

おどりのどんなところがむずかしかったのかを具体的に説明することで、練習風景が手に取るようにわかり、読み手の想像力をかきたてるいい文章です。また、元氣いっぱい張り切っていることを、「かけ声」で表現し、文章をしめくくっている工夫も見習いたいですね。いつも、お見事です。今回も飛び級での掲載です。

フットの試合

今日、二試合目に「ひまわり」と戦いました。ひまわりは、しゅびもすごいけど、こうげきの時も、体の大きい人がホームランを打っていました。私のチームは、ホームランを打つ人が二人しかいないので、ひまわりよりも少ないです。

私も体は小さいけれど早くホームランを打てるようになります。(小四・HNさん)

相手チームの強さを上手に紹介できましたね。また、上手な選手を見て感じたことを、今後の目標としてうまく文章をまとめてあります。試合の結果がとても気になります(笑)結果にもふれられたら、完璧です。

★★★★上級者（五・六年生）の部★★★★

さるびあ丸

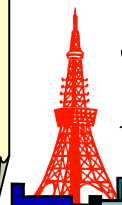
今日は、おばあちゃんにさそわれて、さるびあ丸という大きな船に乗りました。

船の中には、屋台などがたくさんあって、私はポテトフライや唐揚げを食べました。



船から夜景をみると、お台場、東京タワー、レインボーブリッジなどたくさんものを見られました。すごく楽しかったです。

(小六・KAさん)



九月十五日敬老の日の日記です。おばあちゃんと楽しい一日を過ごしたことがよく伝わってきますね。船内の様子や船から見た景色など必要なことをしっかりと書き、まったく無駄のないスマートな文章です。無駄な表現を削ぐことは実は一番難しい作業なのです。

猫がまた

ある日、空手から帰るとねこが家の前にいてビックリしました。ミルクをあげて、お父さん、お母さんに飼ってもいい、と聞くと、ダメといわれ、なんでと聞くと、お母さんは猫の知識がないからと言ったので、あきらめました。

次の日、その猫が家の前にいました。

何日かたつと、お母さんは、飼っちゃダメと言っていたのに、いつしか飼っていました。名前もつけてあげました。名前はタマです。

ぼくはともうれしかったです。

(小六・MN君)



N君の思いが猫に通じたのかもしれないね。一日の出来事にこだわらず、猫にまつわる事柄を何日に渡って書いてあり、時間の経過とともに、心情の変化や状況の変化を上手に表現できました。会話文にカギカッコを使うと、より文章が生き生きしてきます。

●みんな表現を工夫したり、状況を上手に説明したりすることで、自然と文章が長くなってきましたね。

「キッズみんなの日記」に関するご意見・ご感想は 梨香台ゼミナル宛、または、市澤宛にぜひお寄せください。
info@rikohdai.com shoko@rikohdai.com

ちょっとひといき

編集長市澤祥子の気まぐれコーナー

国語はいついたらできるようになる？
教務をしていた頃、保護者や生徒からもっとも多く寄せられるのが、この質問でした。

「どうしたら、国語ができるようになりますか。」
答えは、国語の問題の解き方を授業として受けること。これが一番の近道です。ところが、キッズクラブでは、講義を受けることは難しいですね。国語力は一朝一夕にはつかない、と言われる方も多いですが、私個人としては、他の教科と変わらぬと思います。むしろ、算数で数多くのルールを覚えるより、国語で読解のルールを覚えることのほうがはるかに短時間でできるのです。そして、何より、国語の解答は文章の中にあります。文章の構成と解答の方法さえ知っていれば得点になります。

「うちの子は本を読まないから...」

と、こぼす保護者の方も多くいらっしゃいます。読書が国語力向上に有効かという質問の答えは、もちろん有効だと言えるでしょう。ただし、国語力を身につける方法としては、時間がかかりすぎます。また、せっかく自由に感じる楽しみを味わうことのできる読書を勉強の一環としてこなすのはどうなのでしょう。読書は、語彙を増やしたり、活字に慣れたりするのはとても有効ですが、国語の得点力アップとは直結していません。

読書好きなのに国語が苦手だ、という生徒もたくさんいました。先ほども述べましたが、読書は、個人の感性で楽しむものです。ところが、残念なことに、国語の問題はあなたの感想を聞いてはいません。でも、国語が苦手な子ほど、自分で考えて感じたままを答え

に書きます。もちろん、国語の解答としては、バツです。残念ながら。これ以上話すと、授業になってしまいますね(笑)

さて、講義を受ける以外に、家庭でも簡単にできる、得点アップ法をこっそり教えましょう。キッズクラブの授業開始時にも実践していますが、「速読」です。堅苦しく本格的に考える必要はありません。教科書の文章を声に出し、正確に、早く読む。タイムを計る。ただ、それだけです。脳に多少の負荷をかけ、活字の処理速度を上げること。毎日タイムを更新できたら、大したものですよ。これだけでも、問題を解くときに時間的余裕が生まれます。漢字も読めるようになります。最後に、文章読解とは別に、日記は作文力を向上させるのに非常に有効です。公立高校入試でも、作文力を問う問題が出題されます。でも、なぜか、文章を書く方法を誰もきちんとは教えてくれません。そして、練習には時間がかかります。だからこそ梨香台がやるのです。提出しないのは損ですね。来週はどっさり添削できることを楽しみにしています！

伊藤先生のおすすめ本

秋といえば読書ですね！伊藤先生選りすぐりの本は、秋の夜長にはピッタリ！世界が広がります♪是非1度お試しあれ♪

★初級者★

「さるかに合戦」の再話、リズムカルな方言がユニークかにむかし 岩波書店

木下順二 文/清水崑 絵

★★中級者★★

サルと一緒に自由気ままに暮らしているピッピーは子供たちの憧れの的

長くつ下のピッピー

岩波少年文庫

アサリョド・リッドグレン 作/大塚勇三 訳/桜井誠 絵

★★★★上級者★★★★

数々の受賞歴を誇る名作！人の世界と精霊の世界を描いたファンタジー！

精霊の守り人

偕成社

上橋菜穂子 著/二木真希子 絵